

活動名： 第 10 回福島空港公園 8 人制サッカーフェスティバル U-10

日 程： 令和元年 6 月 15 日（土）・6 月 16 日（日）

会 場： 福島空港公園 緑のスポーツ広場（天然芝）

参 加： アーレホワイト：E4クラス 11 名

帯 同：渡邊コーチ

結 果：6 チーム中 3 位

対戦相手：（全 6 試合：2 勝 2 敗 1 分 11 得点 11 失点）

VS 岩 根 SSS △ 1-1

VS 常 葉 SSS ○ 9-0

VS アーレシルバー ● 0-8

VS アレグリア ● 0-2

VS 猪苗代 SSS ○ 1-0

報 告： 渡邊

ご父兄の皆さんの 2 日間に渡る声援が、選手たちの力となり 3 位入賞することが出来ました。本当にありがとうございました。

さて、今年の U-10 はリフティング最高記録をもとに 2 チームに分け、私はリフティング最高記録 20 回以下の選手で構成するアーレホワイト（以下「チーム W」）を帯同しました。

今回、私がチーム W の選手に求めたことは「やりきる」です。
結論から言うとチーム W の選手は全員やりきってくれました。選手一人一人が「やりきる」ために共通の約束事を決めました。
それが「寄せる」でした。

それでは全試合を振り返ります。

初日は、2 試合行い、岩根 SSS さんとの初戦は、1-0 で前半を終えて迎えた後半にロングボールが DF の頭を超えてしまい、GK との 1 対 1 から決められてしまいました。押し気味で試合を進めていたが、相手 GK のファインセーブもあり 1 点しか取れませんでした。

2 試合目の常葉 SSS さんは、低学年ということもあり大量得点となりました。

ただ、この 2 試合をとおして感じたことは、寄せきれていないということでした。原因は簡単でした。選手と私の間で距離の解釈に違いがあったということです。すぐに選手たちに「寄せる」目的とどこまで相手に近づかなくてはならないかを伝え、一人

一人に確認しました。

そして、むかえた2日目の初戦、アーレシルバーとのアーレ対決。「寄せる」ことはできるようになりましたが、次の課題が出てきました。寄せるタイミングでした。

そこで新たな作戦「ダルマさんが転んだ 2019」です。相手選手がボールしか見ていないときにダッシュで寄せる、そして離れない。

チーム W が優勝するには絶対に負けられないアレグリアさんとの試合ということもあり、ピッチに立った選手一人一人が「寄せる」ということを徹底していたため、0-0 としびれる試合をしていましたが…ワンチャンスをものにも出来ず負けてしまいました。この経験が、11人に自信を与えたのか、今では他選手の背中に隠れていた選手も発言するようになるなど一人一人の成長を感じました。

今大会を締めくくる猪苗代 SSS さんと最終戦。1-0 での勝利。
終わりよければすべてよし…いやいや、またしても新たな宿題が見つかりましたので、これは日々の練習で。

ちなみに、チーム W の試合は、どれも「団子サッカー」になっていましたが、これは今だけのことです。すぐに団子では無くなりますのでご安心ください。

最後に、大会関係者の皆様、ご招待をいただき、ありがとうございました。





